

2021年3月31日

第4回 COVID-19 全国実態調査結果報告

いつも日本放射線腫瘍学会(JASTRO)活動では大変お世話になっております。COVID-19 対策アドホック委員会では、本年2月15日より3月5日まで国内の放射線治療部門での診療への影響に関する第4回実態調査アンケートを行い、201施設206人よりご回答頂きました。忙しい日常診療の中で、多大なご協力を頂き、まことにありがとうございました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。ここにその集計結果を、ご報告させていただきます。先生方の日々の診療にお役に立てれば幸いです。

なお、アンケートの中でご質問が多かった放射線治療患者に対するコロナワクチン接種につきましても、HP上に「ワクチンについての提言」と「放射線治療の提言(改訂版)」とを掲載しておりますので、ご参照いただければ幸いです。

また本アンケートは経時的な変化が重要と考えますので、今後も定期的調査を繰り返してお願い致します。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

JASTRO COVID-19 対策アドホック委員会

玉利慶介、永田靖、溝脇尚志、古平毅、大西洋、小川和彦、塩山善之、茂松直之、宇野隆

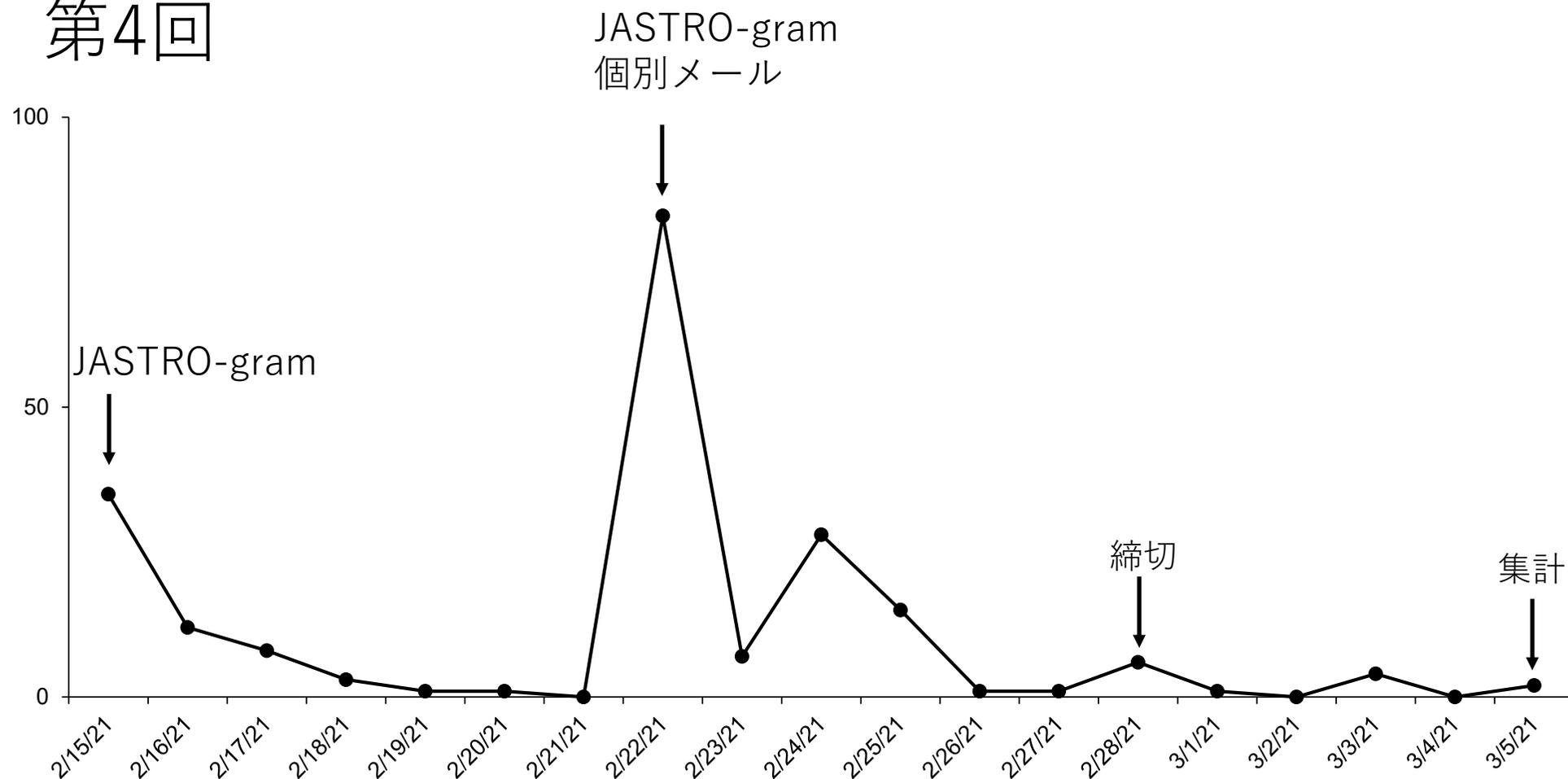
全国放射線治療部門における実態調査 —COVID-19アドホック委員会—

	第1回	第2回	第3回	第4回
時期	2020/5	2020/7	2020/11	2021/2
回答数	566	261	253	206
回答施設数	545	239	243	201

やや回答頂ける施設数が減少してきている。

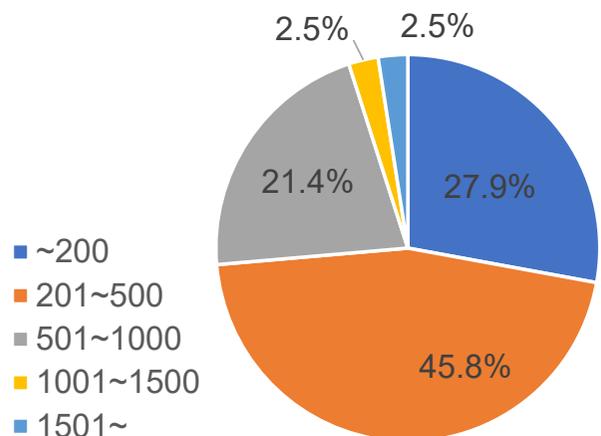
1. 回答者数推移

第4回

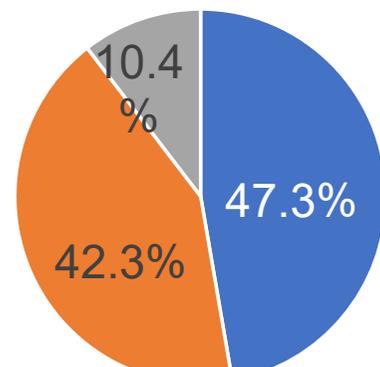
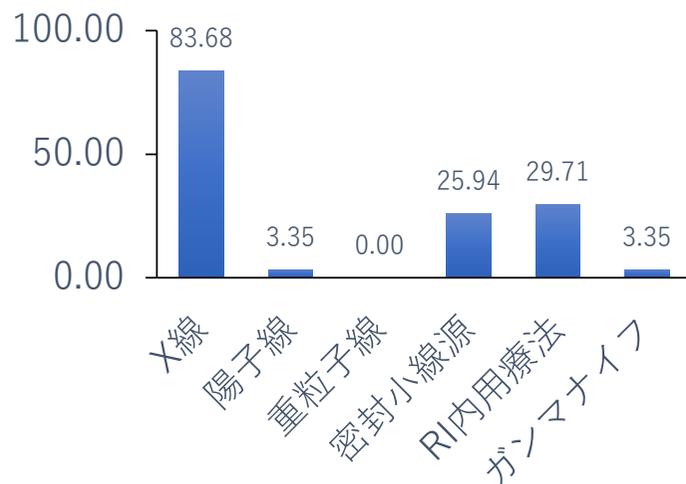


2. 回答施設の基本情報

年間の症例数

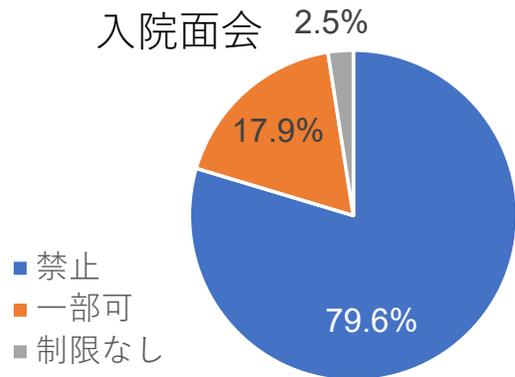


放射線治療の種類



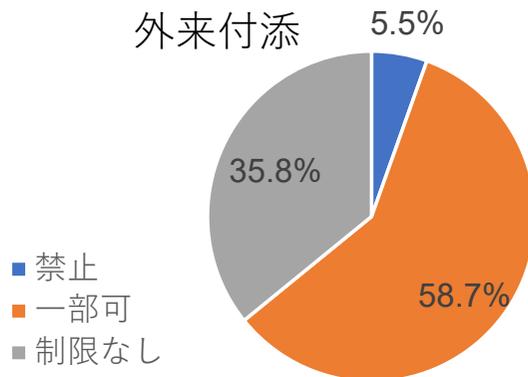
- 感染症指定医療機関で受け入れる
- 感染症指定医療機関でないが受け入れる
- 非感染症指定医療機関で受け入れない

入院面会



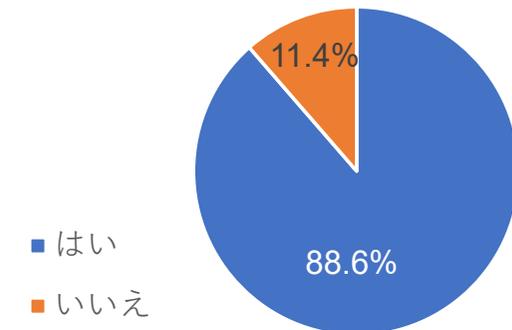
- 禁止
- 一部可
- 制限なし

外来付添



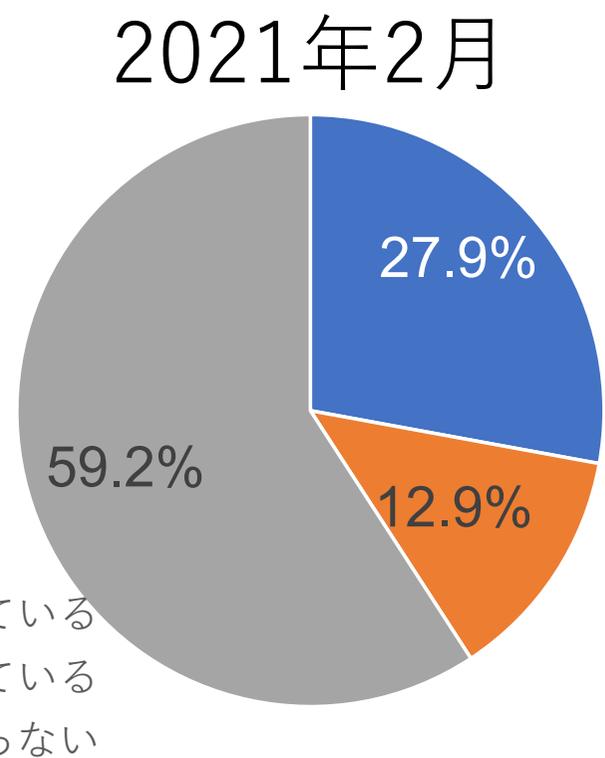
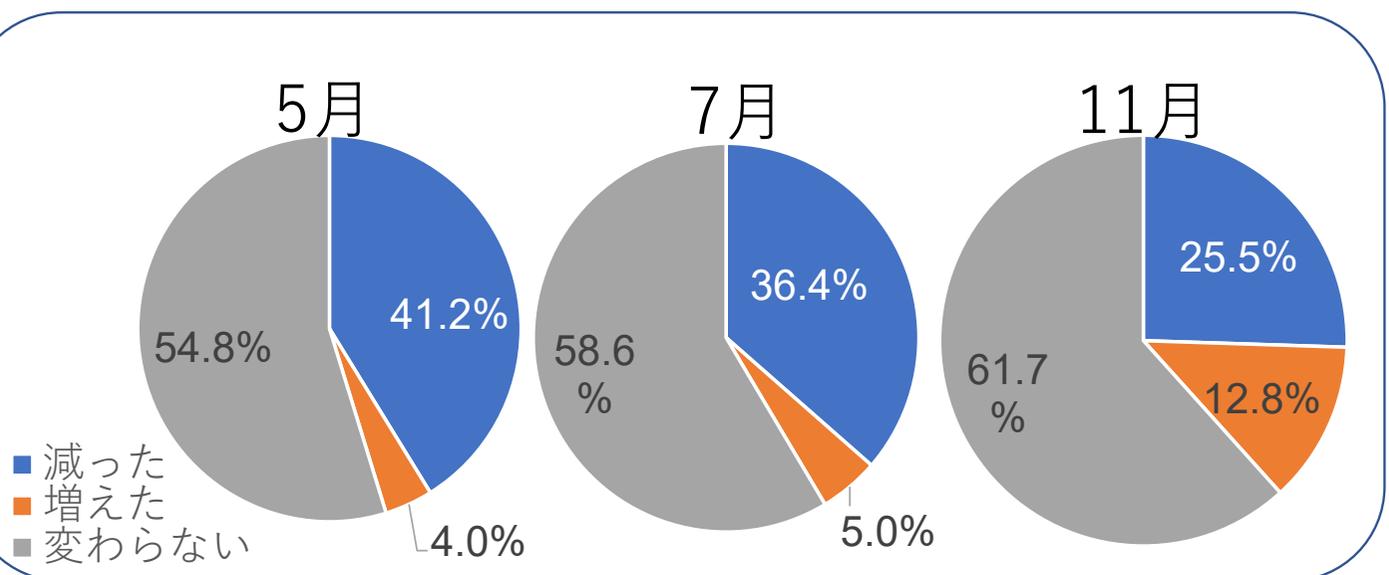
- 禁止
- 一部可
- 制限なし

施設内にCOVID-19の相談できる専門家がいます



- はい
- いいえ

3. 例年と比較した 全国の放射線治療患者数の変化について



患者数が昨年より減少した施設が28%と
前回より微増している。

■ 減っている
■ 増えている
■ 変わらない

4. 患者、スタッフのコロナ対策の推移

患者の対策	5月 (%)	7月 (%)	11月 (%)	2月 (%)
検温(自宅)	61.5	69.0	69.1	75.1
検温(病院)	64.4	64.4	72.4	81.1
マスク着用必須化	80.7	89.1	96.7	98.0
手指消毒徹底	80.2	87.4	93.4	94.5
待合で距離とる	90.1	92.9	96.3	96.5
COVID19患者との接触歴確認	59.6	68.2	71.6	65.7

スタッフ対策	5月 (%)	7月 (%)	11月 (%)	2月 (%)
検温(自宅)	78.9	82.4	84.8	85.6
検温(病院)	41.8	39.7	49.4	58.2
マスク着用必須化	98.7	99.2	99.2	99.0
手指消毒徹底	98.9	99.2	98.8	100.0
ゴーグルやガウンの着用	32.1	37.2	52.3	47.8
同僚との距離確保	69.0	71.1	77.8	80.6
食事を個別にとる	66.9	65.1	67.9	80.6
共用物の定期的消毒	90.3	92.1	92.6	96.0
治療部門内の換気	75.4	78.2	80.7	75.6

患者、スタッフへの対策はより徹底されている。

5. 放射線治療部門における対策・影響

	5月(%)	7月(%)	11月(%)	2月(%)
治療患者数を削減	16.9	5.9	2.5	4.0
治療患者数を今後削減予定	2.8	1.7	0.8	0.5
治療後経過観察間隔の延長	43.9	33.6	25.5	27.4
寡分割照射の積極的採用	32.3	34.7	38.9	39.8
外来入院患者の治療時間帯の区分	28.6	32.6	31.3	35.3
複数治療装置の集約化	2.8	2.9	3.3	4.0
部門内対策会議の実施および文書化	51.6	59.8	59.7	58.7
BCP（事業継続計画）の策定	23.3	30.1	34.6	32.3
医療スタッフの2チーム体制	12.1	8.4	7.4	6.5
カンファレンス規模縮小	55.2	45.2	40.7	46.3

一時期緩和されていた対策の一部が再度強化されている。
寡分割照射は、依然として積極的に採用されている。

5. 放射線治療部門における対策・影響

放射線治療開始の延期	11月	2月
延期予定はない	97.9%	96.5%
前立腺癌で現在も延期	2.0%	3.0%
乳癌で延期	0.4%	1.0%

治療装置に関連するCOVID-19の影響	11月	2月
装置定期点検への影響がある	10.7%	12.9%
装置故障修理への影響がある	7.4%	7.5%
今後の装置購入予定への影響がある	18.5%	19.4%

	11月	2月
非常勤医師派遣への制限	8.2%	10.9%

装置購入予定や定期点検・修理、また非常勤医師派遣への影響が継続している。

6. コロナ禍で寡分割照射を以前より積極的に採用している臓器

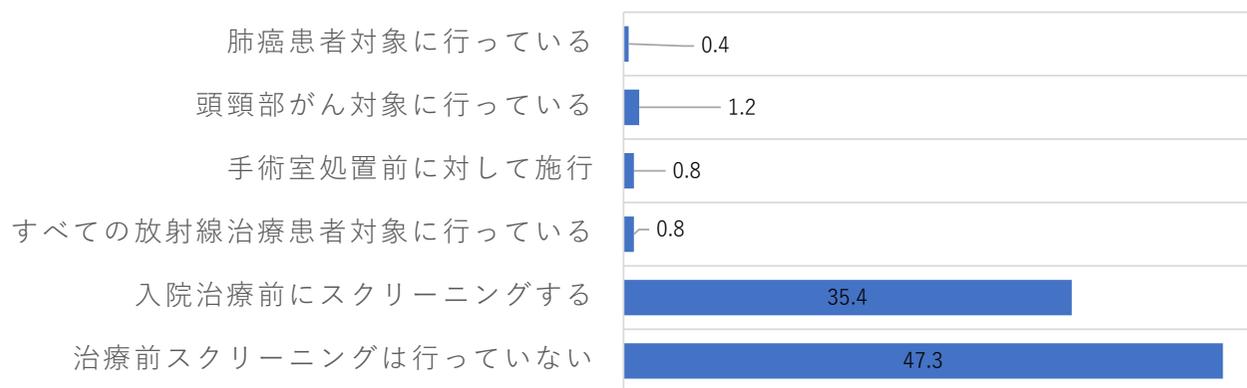
	11月	2月
なし	52.3	52.2
乳癌	38.7	36.8
緩和照射	24.3	35.8
前立腺癌	19.8	16.4
頭頸部癌	2.9	1.5
肺癌	2.1	2.5
脳腫瘍	2.5	0.5

前立腺癌、乳癌でやや減少
緩和照射で増加傾向

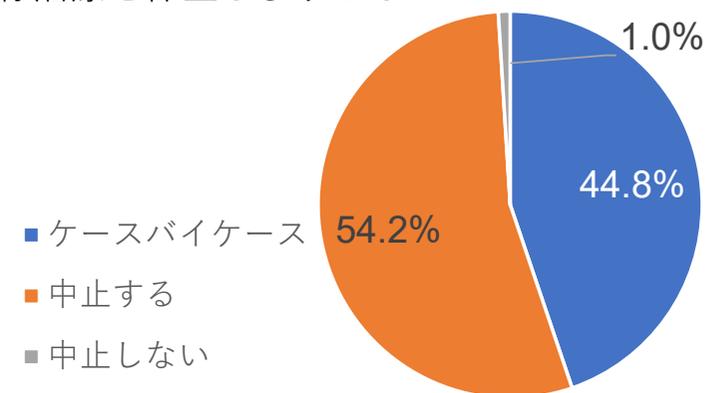
7. COVID-19検査について

治療前スクリーニングについて

割合(%)



治療中の患者さんがCOVID-19感染が疑われた場合に、PCR結果が判明するまで放射線治療を休止しますか？



放射線治療中患者が発熱等を呈した時のPCR検査・抗原検査

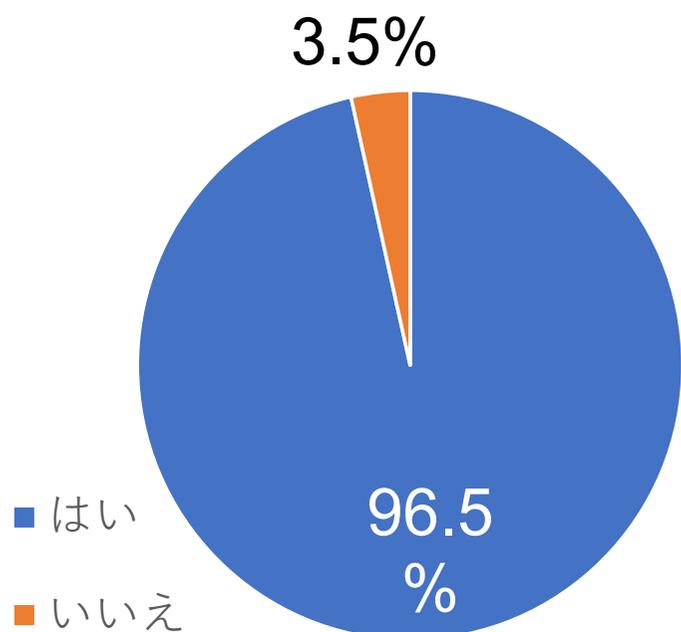
	11月	2月
する	15.6%	30.8%
感染症の専門部門に照会	76.1%	65.2%
しない	8.2%	4.0%

治療中の患者さんがCOVID-19陽性と判明した場合に治療を中止しますか？

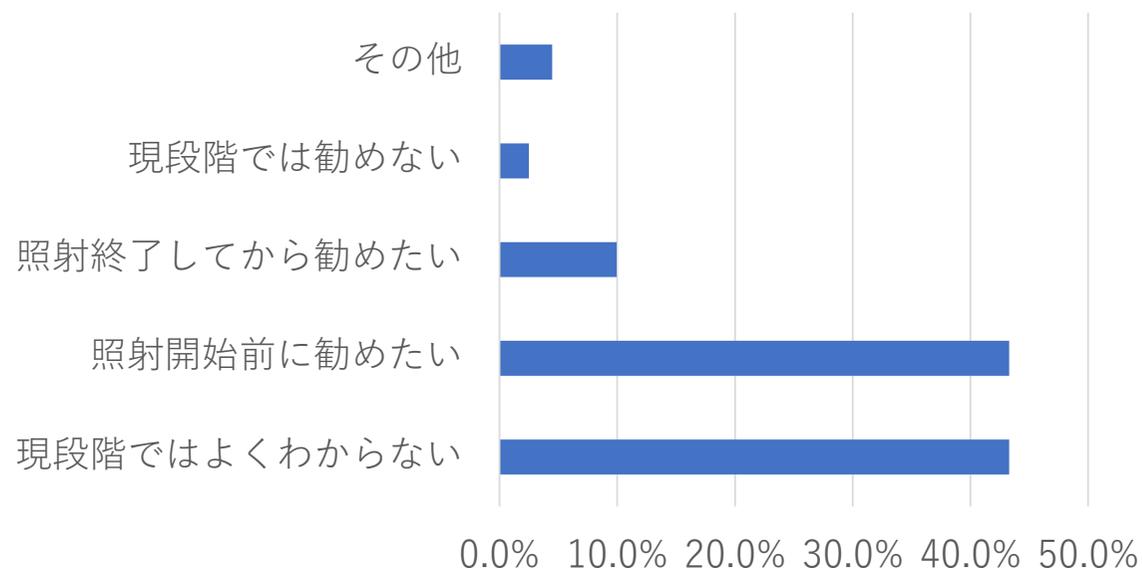
	11月	2月
中止する	46.9%	54.2%
ケースバイケース	53.1%	44.7%
中止しない	0%	1.0%

8. ワクチンについて

あなたは2月より予定される新型コロナウイルスのワクチンを接種しますか？（新規質問：個人的見解で結構です。）



あなたは放射線治療予定の患者さんに新型コロナウイルスのワクチン接種を勧めますか？（新規質問、複数回答可：個人的見解で結構です。）



放射線治療患者に対するワクチン接種は、よくわからないとの回答が半数であった。

9. COVID-19患者発生状況(2020.4-2021.1)

- 4月：4施設、5月：1施設、10月：2施設、11月：5施設、12月：5施設、1月：7施設、2月：5施設
- 職員（医師0人、技師5人、病棟看護師15人、外来看護師3人、事務職4人）
患者（新患紹介患者2、入院中26人、外来5人）
- 業務停止 50日：1施設、 5日：1施設、 3日：1施設、 1日：2施設、 0日：24施設
- COVID-19陽性患者の治療をしなかった施設が23施設、
治療を既に開始しており治療中に判明したため照射した施設が5施設
治療に緊急性があり照射した施設が1施設

10. ご意見集

- 当院では放射線治療科に限らずワクチンに関して患者向けのQ&Aを作成し、原則それに基づいて説明をしています。希望されれば当院の公式見解として渡しています。他院でも同じような文章を作成、配布しているのでしょうか？
- 地域・施設による状況の違いが非常に大きいので、その点を踏まえた情報発信をお願いいたします。
- 質問事項にもありましたが、放射線治療中・治療予定患者の新型コロナウイルスワクチン接種について安全性などのエビデンスの開示等を頂けますと幸いです。
- 今後の臨床でワクチンについて多数の相談を受けることが予想されます。
- 治療中もしくは治療開始を控えていたCOVID-19陽性患者が肺炎が治ってから、がん病巣への治療を再開したかどうかが知りたい。当院は全身状態が良かったのと、食道癌という病態のため、主治医と相談して治療再開としました。
- 治療室内の換気の方法を具体的に知りたいです。
- 間違った規制概念の払拭のプログラム構築の予定
- 学会の提言が細かく記載されており、大変助かりました。院内クラスター発生時の対応についても早めにご教示いただけますと幸いです。また、治療室内の換気について、何か工夫できることがあれば、教えていただけると助かります。よろしくをお願いいたします。
- ガイドラインがあれば教えてください。
- アフターコロナ患者対応

11. まとめ

- 2021年2月にCOVID-19の実態調査を行い201施設から回答を得た。
- 放射線治療患者が減少している施設は28%で、前回より微増した。
- 患者・スタッフの感染対策は、より徹底されていた。
- 装置購入予定や定期点検・修理、また非常勤医師派遣への影響が継続している。
- 寡分割照射は乳癌・緩和治療、次いで前立腺癌で採用されていた。
- 放射線治療前に全例COVID-19スクリーニングを行う施設は一部にとどまる。
- 放射線治療患者に対するワクチン接種は、よくわからないとの回答が半数であった。
- 20/11-21/2月にかけて、22施設で放射線治療部門関連職員・患者でCOVID-19患者が発生し、業務休止した施設もあった。